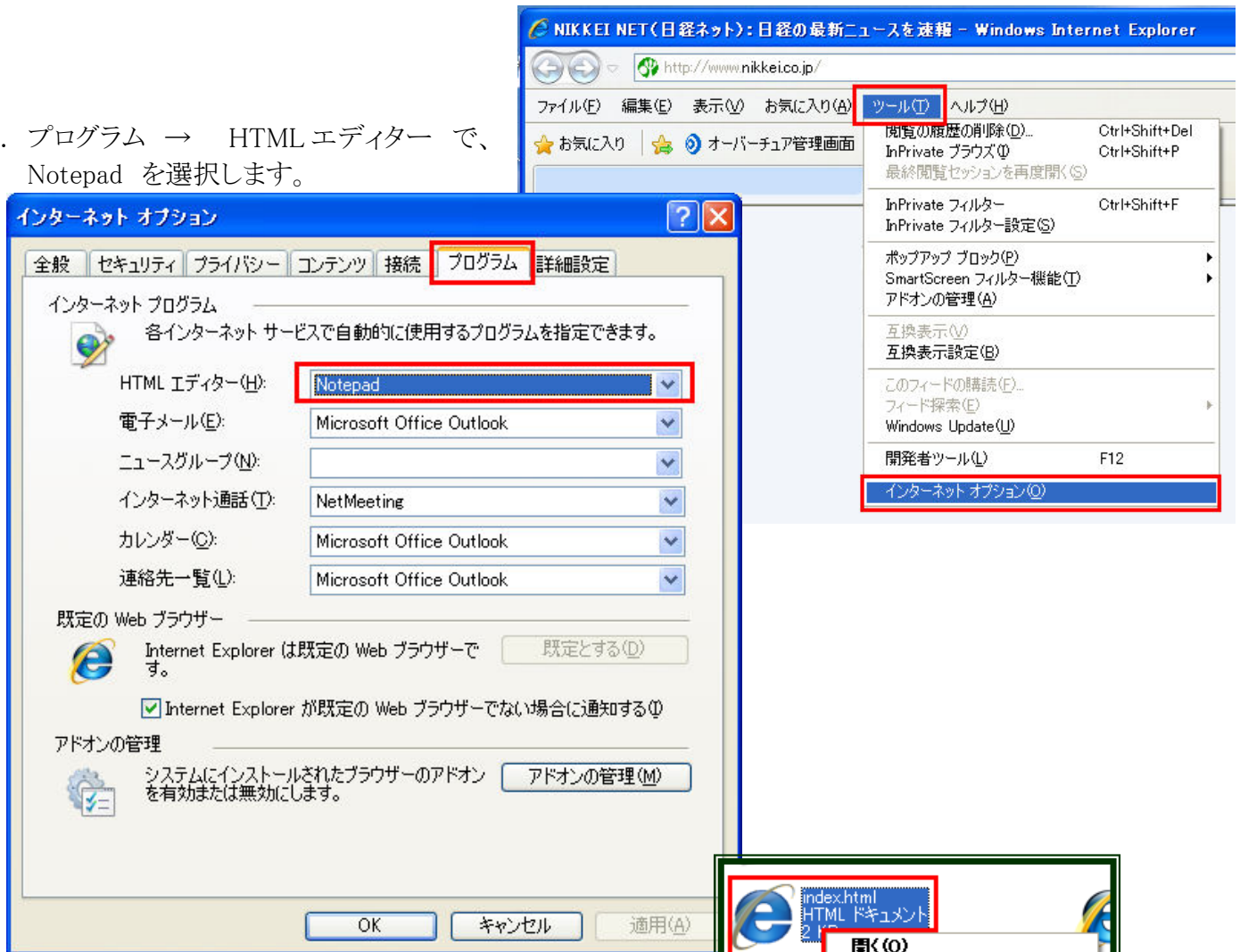


スタイルシートを編集する前の準備

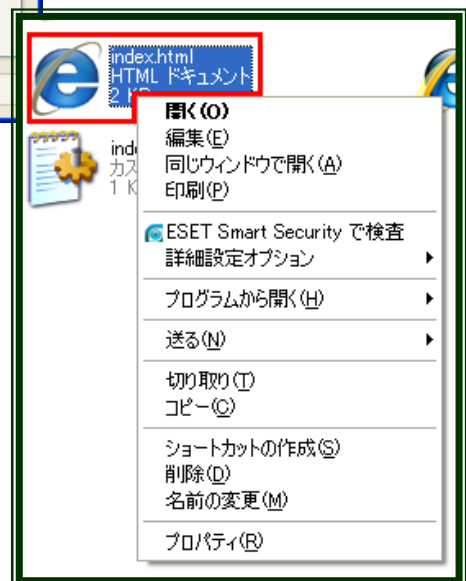
HTML 文書をメモ帳で編集できるようにします。

1. インターネットエクスプローラを開き、ツール → インターネットオプションを選択

2. プログラム → HTML エディター で、Notepad を選択します。



3. HTML文書を右クリックし、編集を選択するとメモ帳で編集できます。



◎スタイルシートとは？

スタイルシートとは、WEB ページ上の「見栄え」を定義するための新しい技術です。

「HTML は本来文書の意味だけを定義するべきで、文書の見栄えは定義するべきではない。

見栄えは HTML ではなく、スタイルシートで記述しよう」というのが開発の理由です。

スタイルシートには、CSS (Cascading Style Sheets) の他にも XSL (Extensible Stylesheet Language) などいくつかの種類があります。

◎簡単なスタイルシート

HTML文書	スタイルシートを含む
<pre><html> <head> <title>まなび北新</title> </head> <body> <h1> HTMLの勉強 </h1> <h2>パソコン救</h2> まなび北新 4 月 26 日 </body> </html></pre>	<pre><html> <head> <title>まなび北新</title> <style TYPE="text/css"> <!-- H1 { color: red; } --> </style> </head> <body> <h1>HTMLの勉強</h1> <h2>パソコン救</h2> まなび北新 4 月 26 日 </body> </html></pre>
上記で赤字部分が異なりますが、見え方は同じです。 では、実際に作成しましょう。	

スタイルシートの記述のお約束として

- スタイルシートに対応していないブラウザのために <!-- ~ --> でコメントアウトしておきましょう。
- h1 の要素にスタイルを指定する場合、{ 始まり } 終わりを記述します。
- 個々の属性を指定するには、xxxx:000; というように コロン と セミコロン で区切る必要があります。

◎スタイルシートとHTMLでの指定による違いを実感する。

1. <h2>パソ救</h2> と記述された所を<h1>パソ救</h1> に変更して比較してみましょう。
2. いかがですか？
 - ① HTMLのほうは“HTMLの勉強”は赤く、“パソ救”は黒で文字は大きくなりました。
 - ② スタイルシートは、両方とも赤くなり、“パソ救”の文字は大きくなりました。
3. スタイルシートはその要素(この場合は、h1)に指定された設定が適用されることとなります。

◎スタイルシートに色々な設定を行ってみる

下記の設定を追加してみましょう

```
body {  
    font:18px/16px "MS ゴシック", "Osaka 等幅";  
}
```

上記は文字の大きさを指定しています。

また、“MS ゴシック”は、Windows用に、“Osaka 等幅”は、Mac用に設定されており訪れる方への配慮ですね

18pxを変えて見ましょう。どのように変化しましたか？

```
body {  
    font:18px/16px "MS ゴシック", "Osaka 等幅";  
    margin-top:50px;  
    margin-left:50px;  
}
```

赤字部分を追加してみましょう。

マージン(Margin)は、余白の意味で、-top:上、-right:右、-bottom:下、-left:左となります。

また、margin:50px,10px,10px,10px のように指定でき、順番は、12時の方向から時計順に上右下左となります。

```
H1 {  
    color: red;  
    background-color: green;  
    width:240px;  
    padding:10px;  
}
```

赤字部分を追加してみましょう。

background-color は背景色、width は横幅、padding は内側の余白となります。

PaddingもMarginと同じで時計方向に上右下左の指定となります。

色を、pink や yellow など好きな色に変えてみましょう

Width や Padding の数値を変えてみてどのように変わるか見てみましょう

body{ } の項目にも、**background-color:** で指定することが可能です。

```
body {
    font:18px/16px "MS ゴシック", "Osaka-等幅";
    margin-top:50px;
    margin-left:50px;
    background-image: url('kabe.gif');
    background-repeat:repeat;
}
```

赤い部分を指定すると画像が背景に表示されましたね。

background-repeat: は繰り返しの設定で repeat-x や repeat-y にすると変化が見られません。

◎スタイルシートを外部参照にする

```
<style TYPE="text/css">
<!--
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
-->
</style>
```

変更↓

```
<link href="index.css" rel="stylesheet" type="text/css" />
```

(ア) <style から /style>を削除します。

(イ) <link href="index.css" rel="stylesheet" type="text/css" /> を追加します。

変化はありましたか？ 変わりませんね

理由は外部参照にただけで、設定内容は同じためです。

外部参照にするメリットは

<link href="index.css" ……> とするだけで、同じスタイル(書式設定)が他の HTML 文書にも反映され個々の HTML 文書を編集する必要がありません。

ホームページ内の全体のレイアウトやイメージなどを統一することが可能です。